

第20回アジア競技大会開催構想<概要版>

平成28年9月20日
愛知県・名古屋市作成

- 開催期間：第17回（2014年）仁川大会と同時期の、2026年9月18日（金）から10月3日（土）の16日間と仮定
- メイン会場：瑞穂公園陸上競技場
- 競技数：第18回（2018年）ジャカルタ大会で実施が予定されている36競技（追加競技を除く）と同じと仮定

大会コンセプト

1. アスリートファーストの視点
2. 既存施設の活用
3. 先端技術の駆使
4. 伝統と県民・市民性に触れるおもてなし
5. アジア競技大会の開催を誇りに、さらなるスポーツ文化の普及へ貢献

選手村

メイン会場と想定する瑞穂公園陸上競技場や主要な競技会場から短時間で移動できる場所に、選手始め大会関係者約1万5千人が収容可能な選手村を整備し、安心・安全・快適に滞在できる生活環境を提供
現在、名古屋競馬場の移転が検討されており、その跡地が候補地のひとつ

財政計画

大会主催者負担経費	850億円
運営経費	440億円
競技会場仮設整備費	110億円
選手村仮設整備費	300億円

上記金額は不確定要素が多いため、さらに費用の圧縮に努めるとともに、経費を精査する。

メインメディアセンター

ポートメッセなごやに、国際放送センターとメインプレスセンターを一体的に設置

競技会場マップ（36競技 50会場 ※トライアスロンは調整中）



競技・種目	競技会場（想定）
1 水泳 競泳/飛び込み/シンクロナイズトスイミング/水球	① 名古屋市総合体育館(レインボープール)
2 アーチェリー	② 岡崎中央総合公園(多目的広場他)
3 陸上競技 フィールド/トラック	③ 瑞穂公園陸上競技場
	④ 瑞穂公園陸上競技場(都心コース)
4 バドミントン	⑤ 愛知県庁・名古屋市役所周辺コース
	⑥ ウイングアリーナ刈谷
5 バスケットボール	⑦ 豊橋市総合体育館
	⑧ 一宮市総合体育館
6 ボクシング	⑨ 春日井市総合体育館
	⑩ 長良川国際ボートコース(海津市、愛西市)
7 カヌー・カヤック スプリント	⑪ 矢作川カヌースラロームコース(豊田市)
	⑫ スラローム
	⑬ 保田ヶ池(みよし市)
8 自転車	⑭ 伊豆ベロドロム(伊豆市)
	⑮ 奥三河地域
	⑯ 名古屋市内
	⑰ マウンテンバイク
9 馬術	⑱ 大規模展示場駐車場
	⑲ 愛知県森林公園
10 フェンシング	⑳ 大規模展示場
	㉑ 豊田スタジアム
11 サッカー	㉒ 港サッカー場
	㉓ 豊田市運動公園球技場
	㉔ ウェーブスタジアム刈谷
12 ゴルフ	㉕ 豊橋市民球技場
	㉖ 愛知カンツリー倶楽部
13 体操 体操/新体操/トランポリン	㉗ 名古屋市総合体育館(レインボーホール)
	㉘ テバオーシャンアリーナ
14 ハンドボール	㉙ 名古屋市稲永スポーツセンター
15 ホッケー	㉚ 岐阜県グリーンスタジアム(各務原市)
16 柔道	㉛ スカイホール豊田
	㉜ 愛知県森林公園
17 近代五種	㉝ 大規模展示場
	㉞ 名古屋市総合体育館(レインボープール)
18 ボート	㉟ 長良川国際ボートコース(海津市、愛西市)
19 ラグビー	㊱ 瑞穂公園ラグビー場
20 セーリング	㊲ 海陽ヨットハーバー
	㊳ 海陽ヨットハーバー
21 射撃	㊴ 愛知県総合射撃場
	㊵ 西尾市総合体育館
22 卓球	㊶ 名古屋市総合体育館
23 テンダー	㊷ 名古屋市枇杷島スポーツセンター
24 テニス・ソフトテニス	㊸ 名古屋市東山公園テニスセンター
25 トライアスロン	調整中
26 バレーボール	㊹ 愛知県体育館
	㊺ パークアリーナ小牧
27 ウェイトリフティング	㊻ (仮称)碧南緑地ビーチコート
	㊼ 吹上ホール
28 レスリング	㊽ 岡崎中央総合公園(体育館)
	㊾ ナゴヤドーム
29 野球・ソフトボール	㊿ 岡崎中央総合公園(市民球場)
	① 小牧市総合運動場野球場
	② 刈谷球場
30 ボウリング	③ 刈谷球場
	④ 安城市総合運動公園ソフトボール場
31 クリケット	⑤ 稲沢グランドボウル
32 カバディ	⑥ 愛・地球博記念公園野球場
33 マーシャルアーツ	⑦ 東海市民体育館
34 セパタクロー	⑧ 愛知県武道館
35 スポーツクライミング	⑨ (仮称)瑞穂公園体育館
36 スカッシュ	⑩ ポートメッセなごや
	⑪ 大規模展示場

※競技会場は、競技エリアが国際基準に適合している施設を対象とし、県内競技団体へのヒアリング結果や観客席数などを参考にして想定。なお、競技会場は、開催までの間に、関係者との調整により変更される可能性がある。